

令和 4 年 度

小 牧 市 民 病 院 改 革 プ ラ ン
(2021年度～2025年度版)
決 算 比 較

令和5年 10月
小 牧 市

目 次

- 1 小牧市民病院改革プランと令和4年度決算比較及び総括 ……………P 1
- 2 医療機能等指標に係る目標値と令和4年度実績値の比較 ……………P 2
- 3 経営の効率化に対する取組の目標値と令和4年度決算の比較 ……………P 4
- 4 再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しに関する検討 ……………P 7
- 5 改革プランと令和4年度決算との比較 ……………P 9
- 6 令和4年度決算と令和3年度決算との比較 ……………P10
- 7 患者数等対目標値年度比較表 ……………P11
- 8 財務指標等対目標値年度比較表 ……………P12
- 9 年度別経営実績の推移 ……………P13

(資料) 小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移

1 小牧市民病院改革プランと令和4年度決算比較及び総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の変異株の出現が繰り返され、第7波、第8波の感染拡大では感染者数が大きく増加しました。こうした中で、当院は重点医療機関として積極的な病床確保や重症患者の受入れを行い、新型コロナウイルス感染症の流行状況に柔軟に対応してまいりました。

同時に、救急医療、がん診療、高次医療を中心に質の高い医療を提供しつつ、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携を図りながら、安定的かつ効率的な病院運営に努めてまいりました。

令和4年度の経営成績について前年度と比較すると、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、入院患者数や外来患者数は減少しましたが、入院及び外来患者一人1日当たりの診療収入は、入院料加算の取得や外来における化学療法の数増加に伴い増額となり、医業収益は増加しました。一方、エネルギー価格の高騰による光熱水費や委託料の増加等により医業費用も増加し、医業収益を上回りました。

その結果、医業収支は損失となりましたが、経常収支では、新型コロナウイルス感染症に関する国・県補助金等の医業外収益の増加により経常利益となり、令和4年度決算は、4億2,900万円余の純利益となりました。また、小牧市民病院改革プラン（以下「改革プラン」という。）との比較では、各指標において新型コロナウイルス感染拡大の影響度合いにより目標達成率に差が生じました。

令和4年度決算は前年度に引き続き黒字決算となりましたが、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行し、関連する国・県補助金等も整理されることから、今後、経常収支で黒字化を図るには、医業収支の改善に向けた取組を積極的に進める必要があります。

少子高齢化に伴う医療需要の変化や医師・看護師等の不足など、様々な課題に直面する中で、地域の医療提供体制を確保し、安全で質の高い急性期医療を継続的に提供するために、より一層経営の効率化を図り、尾張北部医療圏の中核病院として地域の皆様の期待に応えられるよう努力を重ねてまいります。

2 医療機能等指標に係る目標値と令和4年度実績値の比較

改革プランでは、当院の果たすべき役割に沿った医療機能を十分に発揮しているかを検証する観点から、医療機能に関する成果（5疾病、5事業、救急医療入院率、初期臨床研修医受入数など）について数値目標を掲げました。

◇医療機能確保対策について

○救急医療に係る目標値比較

(単位:人、%)

年 度	令和4年度 計 画 ①	令和4年度 実 績 ②	令和3年度 実 績	達成率 ②/①
救急外来患者数	24,000	20,263	19,175	84.4%
救急医療入院率	32.0	38.6	34.7	120.6%

○周産期医療に係る目標値比較

(単位:件)

年 度	令和4年度 計 画 ①	令和4年度 実 績 ②	令和3年度 実 績	達成率 ②/①
分娩件数	380	346	372	91.1%

○小児医療に係る目標値比較

(単位:人)

年 度	令和4年度 計 画 ①	令和4年度 実 績 ②	令和3年度 実 績	達成率 ②/①
小児入院患者数	7,000	4,999	5,187	71.4%

○5疾病に係る目標値比較

(単位:人)

	年 度	令和4年度 計 画 ①	令和4年度 実 績 ②	令和3年度 実 績	達成率 ②/①
5 疾 病	が ん	3,500	2,806	2,871	80.2%
	脳 卒 中	700	576	634	82.3%
	急性心筋梗塞	200	140	152	70.0%
	糖 尿 病	110	80	82	72.7%
	精 神 疾 患	35	31	36	88.6%

※5疾病とは、がん（大腸、胃、肝、乳、肺など）、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下など）、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の延べ入院患者数。

○がん治療連携に係る目標値比較

(単位:件)

年 度	令和4年度 計 画 ①	令和4年度 実 績 ②	令和3年度 実 績	達成率 ②/①
がん治療連携 医療機関数	175	166	165	94.9%

○医師の育成に係る目標値比較

(単位:人)

年 度	令和4年度 計 画 ①	令和4年度 実 績 ②	令和3年度 実 績	達成率 ②/①
初期臨床研修医 受 入 数	24	24	24	100.0%

【医療機能確保対策の分析】

令和4年度においては、新型コロナウイルスワクチンの接種率が高まり、重症化する患者が減少した一方で、新型コロナウイルスは変異を繰り返しながらその感染力を強めていきました。感染拡大期には多くの職員が感染または濃厚接触者となり、救急患者の受入れなどの診療制限を余儀なくされることがありました。また、手洗いやうがい、マスクの着用など感染予防に対する意識の高まりから、感染症を発症する患者が大きく減少し、加えて小児においては感染症を契機に悪化・発症する喘息重積発作なども、昨年度に引き続き減少しています。

これらの影響により、救急外来患者数、小児入院患者数、5疾病やがん治療連携に係る指標などの実績値は目標値を達成できませんでしたが、重度な救急受入れ患者の指標となる救急医療入院率は目標値を達成しており、当院が目指す高度急性期・急性期機能の役割は果たせたものと考えています。また、初期臨床研修医受入れ数も目標値を達成しており、次世代の地域医療を担う医師の教育機関としても十分に機能できたと言えます。

3 経営の効率化に対する取組の目標値と令和4年度決算の比較

改革プランでは、病院経営の健全化を確保する観点から主要な経営指標（経常収支比率、経常損益額、職員給与費対医業収益比率、病床利用率、平均在院日数など）について数値目標を掲げました。

◇収入増加・確保対策

ア 病床利用率の維持と平均在院日数の適正化について

○入院収益の目標値比較

(単位：百万円)

年 度	令和4年度 計 画 ①	令和4年度 決 算 ②	令和3年度 決 算	達成率 ②/①
入 院 収 益	13,014	13,169	12,990	101.2%

○入院患者数の目標値比較

(単位：人)

年 度	令和4年度 計 画 ①	令和4年度 実 績 ②	令和3年度 実 績	達成率 ②/①
入 院 患 者 数	170,110	148,390	154,898	87.2%
1日平均患者数	466	407	424	

○病床利用率の目標値比較

(単位：%)

年 度	令和4年度 計 画 ①	令和4年度 実 績 ②	令和3年度 実 績	達成率 ②/①
病 床 利 用 率	82.9	71.5	74.8	86.2%

○平均在院日数の目標値比較

(単位：日)

年 度	令和4年度 計 画 ①	令和4年度 実 績 ②	令和3年度 実 績	達成率 ①/②
平均在院日数	11.2	10.7	11.0	104.7%

【病床利用率の維持と平均在院日数の適正化の分析】

クリニカルパス^{※1}による医療の標準化や入退院支援の充実など、入院から退院までの療養計画を効率的かつ効果的に行い、医療の質を落とすことなく病床管理対策を行ってきました。また、高度医療機器の活用としてダヴィンチを用いた手術が増加し、患者の体への負担が軽減されたことで入院期間の短縮が可能となりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた入院患者数が感染拡大前の水準まで戻っておらず、入院患者数及び病床利用率はそれぞれ目標値を下回りました。

他の病院と比較して、在院日数が長い疾患に対する後方連携の強化に努め、特に注力した誤嚥性肺炎の在院日数については、令和3年度は23.7日でしたが、その運用を開始した令和4年9月以降には15.3日と大きく短縮しました。その結果、病院全体で前年度比が0.3日の短縮となり、目標値を達成しました。また、令和4年度診療報酬改定において新設された急性期充実体制加算や、看護補助者の契約の見直しを図ることで算定することが可能となった夜間100対1急性期看護補助体制加算など、入院料加算の算定を底上げしたことにより、一人1日当たりの入院診療収入が増加し、入院収益は目標値を上回りました。

※1：医療提供を効率的に行うための工程管理手法

イ 外来患者数について

○外来収益の目標値比較

(単位：百万円)

年 度	令和4年度 計 画 ①	令和4年度 決 算 ②	令和3年度 決 算	達成率 ②/①
外 来 収 益	6,914	6,963	6,886	100.7%

○外来患者数の目標値比較

(単位：人)

年 度	令和4年度 計 画 ①	令和4年度 実 績 ②	令和3年度 実 績	達成率 ②/①
外 来 患 者 数	308,680	275,916	278,659	89.4%
1日平均患者数	1,270	1,135	1,151	

【外来患者数の分析】

治療の標準化と病床の有効活用の観点から、入院検査、術前・術後の検査など外来で行うことができる検査は外来で行うように徹底しました。また、紹介患者の円滑な受入れ体制を整えるため、症状が安定した患者を地域のかかりつけ医へ積極的に逆紹介し、当院での治療が必要な患者を積極的に受け入れました。さらには、救急搬送患者の応需率向上に向けた検討などを行い、地域の中で当院が果たすべき役割を強化しつつ、集患のための取組を進めました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた外来患者数が感染拡大前の水準まで戻らず、目標値を下回りました。一方で、がん治療等における高額薬剤の使用が増えたことなどにより一人1日当たりの外来診療収入は増加し、外来収益は目標値を上回りました。

ウ 診療報酬請求について

診療報酬請求の精度向上のため、医師や看護師、事務職員、委託職員を対象とした診療報酬請求に関する講習会を実施しました。また、毎月各診療科で開催するカンファレンスに事務職員が参加し、診療報酬の査定傾向などの情報共有に努めました。令和4年度における返戻率は1.35%（前年度比0.76ポイントの増加）、査定率は0.28%（前年度比0.1ポイントの増加）となりました。

エ 未収金対策について

電話による速やかな催告を積極的に行い、発生段階での対応に取り組みました。また、小牧市債権回収特別対策室や小牧市保険医療課と連携して未収金対策に取り組みました。令和4年度末時点における未収金額は115,599千円余（前年度比3.2ポイントの増加）となりました。

◇経費削減・抑制対策

オ 委託費の見直しについて

委託契約については、委託業務内容を十分検討し、仕様の見直しや価格交渉に取り組みました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大を境に医療廃棄物処理に係る廃棄単価が上昇、廃棄量が増加したことなどにより、委託料全体で1.0ポイントの増加となりました。

カ 薬品の見直しについて

薬局を中心に後発医薬品の採用を拡大するとともに、納入業者との単価交渉等に取り組みました。一方で、がん治療薬などの高額な薬剤を用いる患者数の増加などにより、薬剤費全体では増額となりました。

キ 診療材料の見直しについて

管財課を中心に、材料価格について納入業者との単価交渉や、使用材料の見直しなどに取り組みました。また、心臓血管外科や循環器内科などにおいて、高額な診療材料を用いる手術件数が減少し、診療材料費全体では減額となりました。

材料費の内訳

(単位：百万円)

年 度	令和4年度 決 算	対医業収益 比率	令和3年度 決 算	対医業収益 比率
材料費	6,831	32.6%	6,845	33.0%
うち薬品費	4,112	19.6%	3,979	19.2%
うち材料費	2,712	12.9%	2,858	13.8%

ク 備品等の見直しについて

多職種で構成した購入等物品機種選定委員会において、改革プランの収支計画を基に購入目安額を設定し、緊急性、重要性などから購入すべき医療機器の選定を行いました。また、購入単価については個別に調査・検討して納入業者との交渉に取り組みました。

4 再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しに関する検討

○経営指標の目標値比較

(単位：％、百万円)

年 度	令和4年度 計 画 ①	令和4年度 決 算 ②	令和3年度 決 算	達成率 ②／①
経常収支比率	95.7	101.1	101.0	105.6%
現金保有残高	7,601	10,280	9,906	135.2%

【再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しの分析】

令和4年度の病床利用率は71.5%（退院患者数を含む割合では78.2%）であり、新公立病院ガイドラインの再編水準である70%（退院患者を含む割合）を超えています。また、令和4年度の経営指標においても、経常収支比率、現金保有残高ともに目標値を上回っていることから、現時点における再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しの必要性は無いと考えられます。

◇収支計画に係る目標数値比較 (上段：目標値、下段：決算額)

(単位：百万円)

		令和3年度	令和4年度
収 益	医業収益	20,644	20,860
		20,792	21,022
	医業外収益	2,042	2,033
		4,083	3,926
経常収益 (A)	22,686	22,893	
	24,875	24,948	
費 用	医業費用	22,808	22,822
		23,391	23,452
	医業外費用	1,261	1,103
		1,238	1,220
経常費用 (B)	24,069	23,925	
	24,629	24,672	
経常損益 (A)－(B) (C)		△1,383	△1,032
		246	276
経常収支比率(%) (A)/(B)		94.3	95.7
		101.0	101.1
特 別 損 益	特別利益 (D)	105	110
		164	174
	特別損失 (E)	10	5
131		20	
特別損益 (D)－(E) (F)		95	105
		33	154
純損益 (C)+(F)		△1,288	△927
		279	430
資本的収入		1,616	923
		1,552	965
資本的支出		4,700	2,050
		4,226	2,086
資本的収支差引額		△3,084	△1,127
		△2,674	△1,121

5. 改革プランと令和4年度決算との比較

1. 収支計画（収益的収支）

(単位:百万円)

年度		4年度 改革プラン 計画①	4年度 決算②	②/①
区分				
収 入	1. 医 業 収 益 a	20,860	21,022	100.8%
	(1) 料 金 収 入	19,928	20,132	101.0%
	入 院 収 益	13,014	13,169	101.2%
	外 来 収 益	6,914	6,963	100.7%
	(2) そ の 他	932	890	95.5%
	うち他会計負担金	162	162	100.0%
	2. 医 業 外 収 益	2,033	3,926	193.1%
	(1) 他会計負担金・補助金	774	758	97.9%
	(2) 国（県）補助金	23	1,724	7495.7%
	(3) 長期前受金戻入	1,063	1,248	117.4%
(4) そ の 他	173	196	113.3%	
経 常 収 益 (A)	22,893	24,948	109.0%	
支 出	1. 医 業 費 用 b	22,822	23,452	102.8%
	(1) 職 員 給 与 費 c	10,168	10,115	99.5%
	(2) 材 料 費	6,350	6,830	107.6%
	(3) 経 費	3,530	3,662	103.7%
	(4) 減 価 償 却 費	2,699	2,693	99.8%
	(5) そ の 他	75	152	202.7%
	2. 医 業 外 費 用	1,103	1,220	110.6%
	(1) 支 払 利 息	85	84	98.8%
	(2) 保 育 費	74	81	109.5%
	(3) そ の 他	944	1,055	111.8%
経 常 費 用 (B)	23,925	24,672	103.1%	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	△ 1,032	276	△26.7%	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	110	174	158.2%
	2. 特 別 損 失 (E)	5	20	400.0%
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	105	154	146.7%
純 損 益 (C)+(F)	△ 927	430	△46.4%	
不 良 債 務	累 積 欠 損 金 (G)	0	0	-
	流 動 資 産 (ア)	12,843	15,320	119.3%
	流 動 負 債 (イ)	3,605	3,621	100.4%
	うち一時借入金			-
	翌年度繰越財源(ウ)			-
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)			-
	不良債務 (オ)	△ 9,238	△ 11,699	126.6%
差引 [(イ)-(エ)]-(ア)-(ウ)				
単 年 度 資 金 不 足 額	0	0	-	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	95.7%	101.1%	105.6%	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	-	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	91.4%	89.6%	98.0%	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	48.7%	48.1%	98.8%	
病 床 利 用 率	82.9%	71.5%	86.2%	

2. 収支計画（資本的収支）

(単位:百万円)

年度		4年度 改革プラン 計画①	4年度 決算②	②/①
区分				
収 入	1. 企 業 債			-
	2. 他 会 計 出 資 金			-
	3. 他 会 計 負 担 金	923	924	100.1%
	4. 他 会 計 借 入 金			-
	5. 他 会 計 補 助 金			-
	6. 国（県）補助金	0	37	皆増
	7. そ の 他	0	4	皆増
	収 入 計 (a)	923	965	104.6%
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)			-
	前年度同意債で当年度借入分 (c)			-
純計(a)-(b)+(c) (A)	923	965	104.6%	
支 出	1. 建 設 改 良 費	220	315	143.2%
	2. 企 業 債 償 還 金	1,670	1,626	97.4%
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金			-
	4. そ の 他	160	145	90.6%
支 出 計 (B)	2,050	2,086	101.8%	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	1,127	1,121	99.5%	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,107	1,111	100.4%
	2. 利 益 剰 余 金			-
	3. 減 債 積 立 金			-
	4. 建 設 改 良 積 立 金			-
	5. そ の 他	20	10	50.0%
計 (D)	1,127	1,121	99.5%	
補 て ん 財 源 不 足 額 (C)-(D) (E)	0	0	-	
当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (F)			-	
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	-	

3. 一般会計からの繰入金

(単位:千円)

年度		4年度 新改革プラン 計画①	4年度 決算②	②/①
区分				
収 益 的 収 支		936,000	919,557	98.2%
資 本 的 収 支		923,000	923,764	100.1%
合 計		1,859,000	1,843,321	99.2%

6. 令和4年度決算と令和3年度決算との比較

1. 収益的収支決算比較

(単位:百万円、%)

年度		3年度 決算①	4年度 決算②	②-①	②/①
区分					
取 入	1. 医 業 収 益 a	20,792	21,022	230	101.1%
	(1) 料 金 収 入	19,876	20,132	256	101.3%
	入院 収 益	12,990	13,169	179	101.4%
	外 来 収 益	6,886	6,963	77	101.1%
	(2) そ の 他	916	890	△ 26	97.2%
	うち他会計負担金	162	162	0	100.0%
	2. 医 業 外 収 益	4,083	3,926	△ 157	96.2%
	(1) 他会計負担金・補助金	736	758	22	103.0%
	(2) 国 (県) 補 助 金	1,922	1,724	△ 198	89.7%
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	1,222	1,248	26	102.1%
(4) そ の 他	203	196	△ 7	96.6%	
経 常 収 益 (A)	24,875	24,948	73	100.3%	
支 出	1. 医 業 費 用 b	23,391	23,452	61	100.3%
	(1) 職 員 給 与 費 c	10,178	10,115	△ 63	99.4%
	(2) 材 料 費	6,844	6,830	△ 14	99.8%
	(3) 経 費	3,486	3,662	176	105.0%
	(4) 減 価 償 却 費	2,735	2,693	△ 42	98.5%
	(5) そ の 他	148	152	4	102.7%
	2. 医 業 外 費 用	1,238	1,220	△ 18	98.5%
	(1) 支 払 利 息	94	84	△ 10	89.4%
	(2) 保 育 費	81	81	0	100.0%
	(3) そ の 他	1,063	1,055	△ 8	99.2%
経 常 費 用 (B)	24,629	24,672	43	100.2%	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	246	276	30	112.2%	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	164	174	10	106.1%
	2. 特 別 損 失 (E)	131	20	△ 111	15.3%
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	33	154	121	466.7%
純 損 益 (C)+(F)	279	430	151	154.1%	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	-	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	14,538	15,320	782	105.4%
	流 動 負 債 (イ)	3,684	3,621	△ 63	98.3%
	うち一時借入金			-	-
	翌年度繰越財源(ウ)			-	-
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)			-	-
差引 不 良 債 務 (オ)	△ 10,854	△ 11,699	△ 845	107.8%	
[(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]					
単 年 度 資 金 不 足 額	0	0	0	-	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	101.0%	101.1%	-	100.1%	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	-	-	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	88.9%	89.6%	-	100.8%	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	48.9%	48.1%	-	98.4%	
病 床 利 用 率	74.8%	71.5%	-	95.6%	

2. 資本的収支決算比較

(単位:百万円、%)

年度		3年度 決算①	4年度 決算②	②-①	②/①
区分					
取 入	1. 企 業 債	299	0	△ 299	皆減
	2. 他 会 計 出 資 金			-	-
	3. 他 会 計 負 担 金	1,078	924	△ 154	85.7%
	4. 他 会 計 借 入 金			-	-
	5. 他 会 計 補 助 金			-	-
	6. 国 (県) 補 助 金	168	37	△ 131	22.0%
	7. そ の 他	7	4	△ 3	57.1%
	収 入 計 (a)	1,552	965	△ 587	62.2%
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)			-	-
	前年度同意債で当年度借入分 (c)			-	-
純計(a)-(b)+(c) (A)	1,552	965	△ 587	62.2%	
支 出	1. 建 設 改 良 費	1,493	315	△ 1,178	21.1%
	2. 企 業 債 償 還 金	1,584	1,626	42	102.7%
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金			-	-
	4. そ の 他	1,149	145	△ 1,004	12.6%
	支 出 計 (B)	4,226	2,086	△ 2,140	49.4%
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	2,674	1,121	△ 1,553	41.9%	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	2,103	1,111	△ 992	52.8%
	2. 利 益 剰 余 金			-	-
	3. 減 債 積 立 金			-	-
	4. 建 設 改 良 積 立 金	548	0	△ 548	皆減
	5. そ の 他	23	10	△ 13	43.5%
計 (D)	2,674	1,121	△ 1,553	41.9%	
補 て ん 財 源 不 足 額 (C)-(D) (E)	0	0	0	-	
当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (F)			-	-	
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	-	

3. 一般会計からの繰入金比較

(単位:千円)

年度		3年度 決算①	4年度 決算②	②-①	②/①
区分					
収 益 的 収 支		898,338	919,557	21,219	102.4%
資 本 的 収 支		1,077,662	923,764	△ 153,898	85.7%
合 計		1,976,000	1,843,321	△ 132,679	93.3%

7. 患者数等対目標値年度比較表(総括)

(上段:目標値、下段:決算値)

◇入院患者数の目標値比較

(単位:人)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入 院 患 者 数	170,500	175,400	168,960	170,110
	165,626	149,759	154,898	148,390
1 日 平 均 患 者 数	466	481	463	466
	453	410	424	407

◇病床利用率の比較

(単位:%)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
病 床 利 用 率	82.0	84.5	82.3	82.9
	79.4	72.2	74.8	71.5

◇平均在院日数の比較

(単位:日)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
平 均 在 院 日 数	10.8	10.7	11.2	11.2
	11.2	10.7	11.0	10.7

◇外来患者数の目標値比較

(単位:人)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外 来 患 者 数	300,000	291,600	308,090	308,680
	295,292	278,024	278,659	275,916
1 日 平 均 患 者 数	1,250	1,200	1,268	1,270
	1,230	1,144	1,150	1,135

8. 財務指標等対目標値年度比較表(総括)

(上段:目標値、下段:決算値)

◇財務全般に係る指標対目標値年度比較

	項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
(1)	経常収支比率 (%)	95.6	97.7	94.3	95.7
		91.8	97.4	101.0	101.1
(2)	医業収支比率 (%)	92.4	93.2	90.5	91.4
		88.7	87.3	88.9	89.6
(3)	職員給与費対医業収益比率 (%)	47.9	47.2	49.3	48.7
		50.0	50.1	48.9	48.1
(4)	資金不足比率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0
(5)	入院患者一人1日当たりの診療収入 (円)	71,500	71,400	76,000	76,500
		72,623	80,836	83,860	88,748
(6)	外来患者一人1日当たりの診療収入 (円)	21,600	22,100	22,300	22,400
		22,288	24,289	24,712	25,235
(7)	現金保有残高(百万円)	-	-	8,108	7,601
		12,872	10,632	9,906	10,280

◇医療機能(5疾病5事業等)に係る目標数値比較

	項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
5疾病	が ん (人)	3,500	3,500	3,500	3,500
		3,189	3,232	2,871	2,806
	脳 卒 中 (人)	700	700	700	700
		515	526	634	576
	急 性 心 筋 梗 塞 (人)	200	200	200	200
		148	139	152	140
糖 尿 病 (人)	110	110	110	110	
	72	94	82	80	
精 神 疾 患 (人)	35	35	35	35	
	15	22	36	31	
5事業	救 急 医 療 (人)	25,000	27,000	23,000	24,000
		21,284	17,930	19,175	20,263
	周 産 期 医 療 (件)	350	350	380	380
		363	335	372	346
	小 児 医 療 (人)	8,000	8,000	7,000	7,000
		7,012	4,402	5,187	4,999
災 害 医 療 (件)	-	-	-	-	
	-	-	-	-	
へ き 地 医 療 (件)	-	-	-	-	
	-	-	-	-	
臨床研修医の受入人数 (人)	24	24	24	24	
	22	22	24	24	

- 5疾病は、がん(大腸、胃、肝、乳、肺など)、脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下など)、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾病の延べ入院患者数を表示しています。
- 5事業は、救急医療(救急外来患者数)、周産期医療(分娩数)、小児医療(小児科入院数)、災害医療、へき地医療の件数を表示しています。
- 臨床研修医の受入数は、研修医1年生と2年生の受入人数です。

9. 年度別経営実績の推移

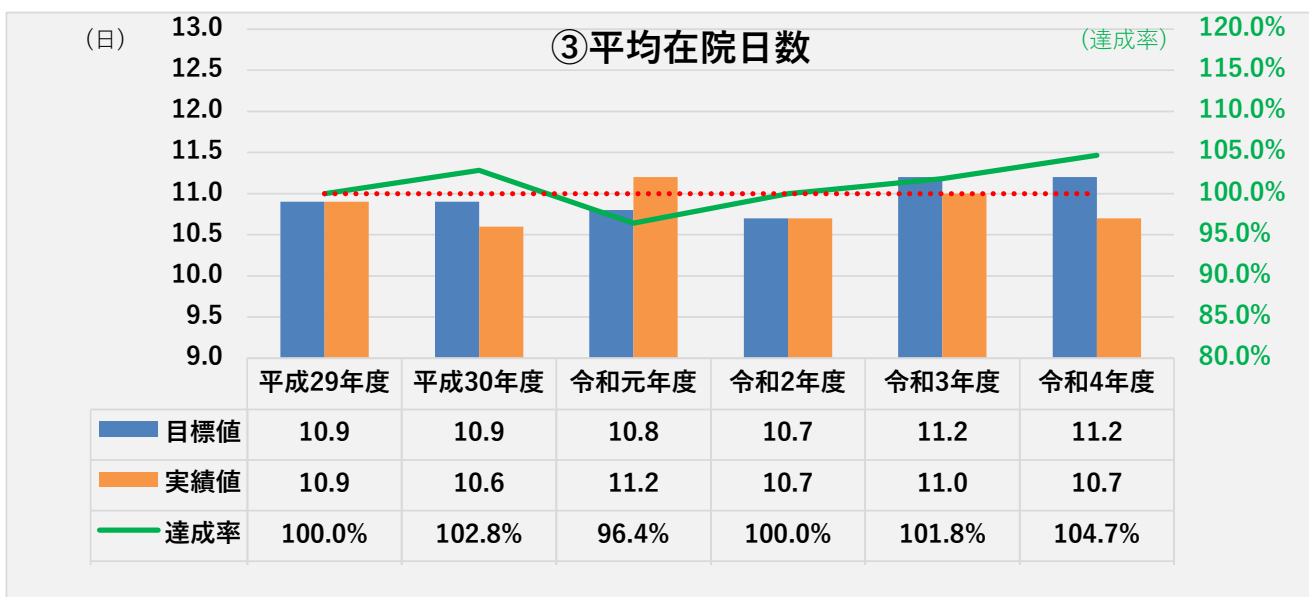
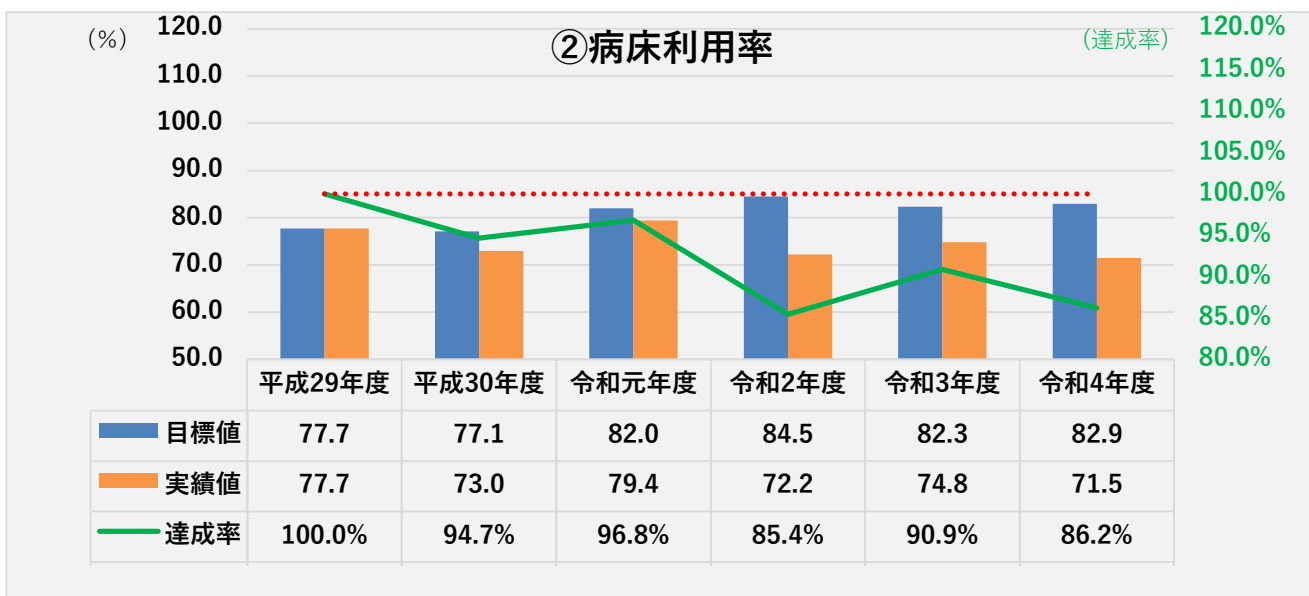
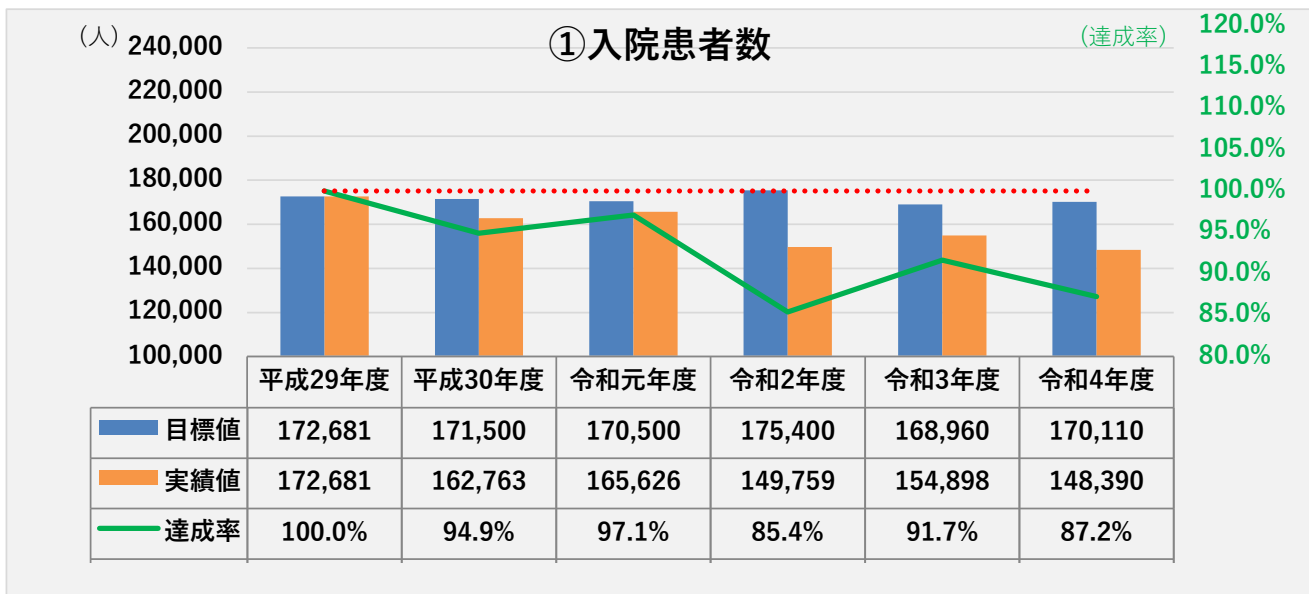
(経営指標)

項 目		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
(1)	経常収支比率 (%)	91.8	97.4	101.0	101.1
(2)	医業収支比率 (%)	88.7	87.3	88.9	89.6
(3)	他会計繰入金対医業収益比率 (%)	3.9	3.7	4.3	4.4
(4)	職員給与費対医業収益比率 (%)	50.0	50.1	48.9	48.1
(5)	病床利用率 (%)	79.4	72.2	74.8	71.5
(6)	平均在院日数 (日)	11.2	10.7	11.0	10.7
(7)	患者紹介率 (%)	67.2	67.0	66.6	68.8
(8)	100床当たり一日平均患者数				
	入院(人)	87.0	78.8	81.6	78.2
	外来(人)	236.6	220.0	221.4	218.4
(9)	患者一人1日当たり診療収入				
	入院(円)	72,623	80,836	83,860	88,748
	外来(円)	22,288	24,289	24,712	25,235
(10)	職員一人1日当たり診療収入				
	医師(円)	288,646	275,777	283,868	295,608
	看護部門(円)	77,203	76,938	83,763	88,274
(11)	資金期末残高 (百万円)	12,872	10,631	9,906	10,280

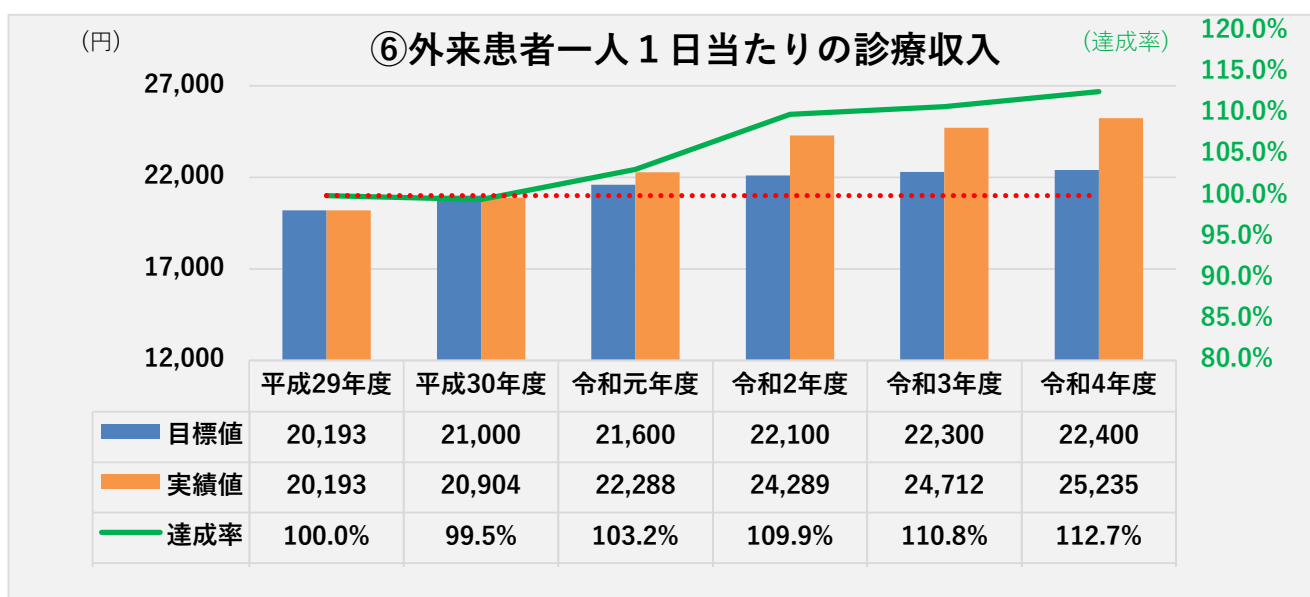
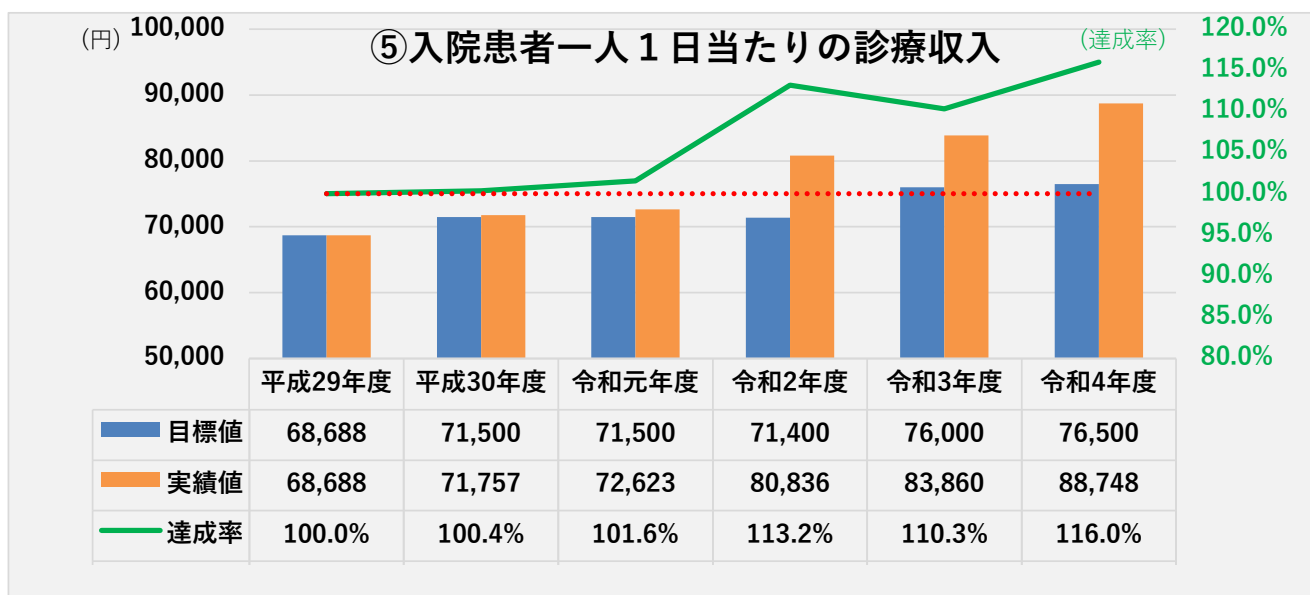
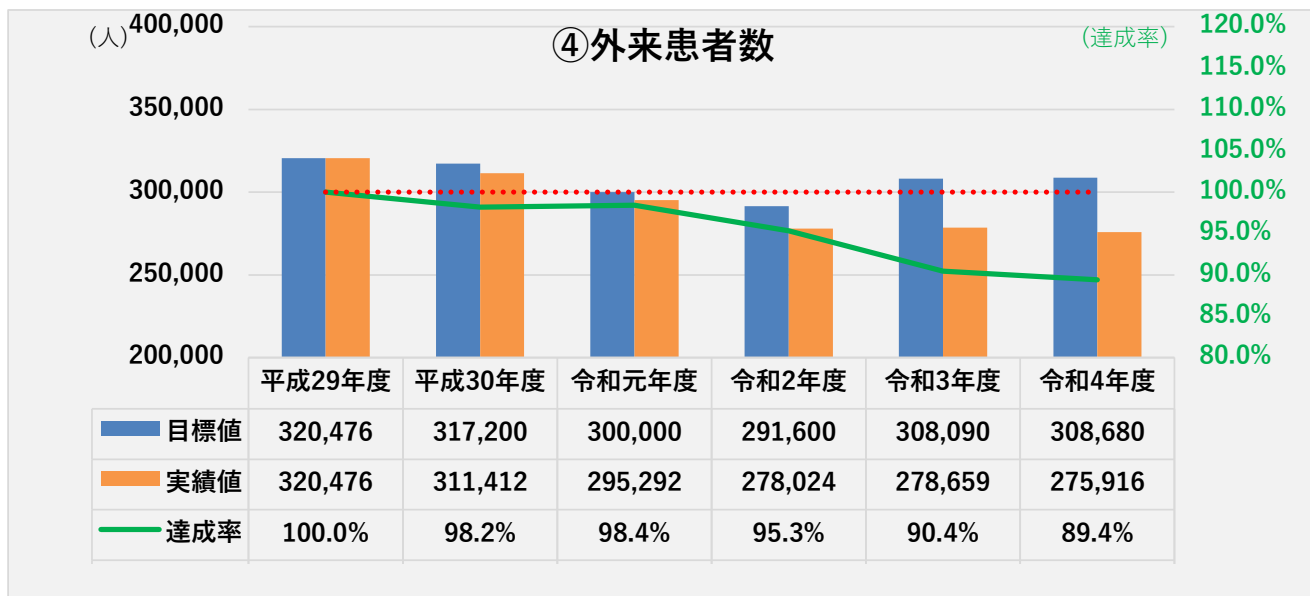
(収益額・患者数)

項 目		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
(1)	入院収益 (千円)	12,023,171	12,101,949	12,989,681	13,169,287
(2)	外来収益 (千円)	6,569,969	6,741,340	6,886,174	6,962,812
(3)	入院患者数 (人)	165,626	149,759	154,898	148,390
(4)	外来患者数 (人)	295,292	278,024	278,659	275,916
	平日日数 (日)	240	243	242	243

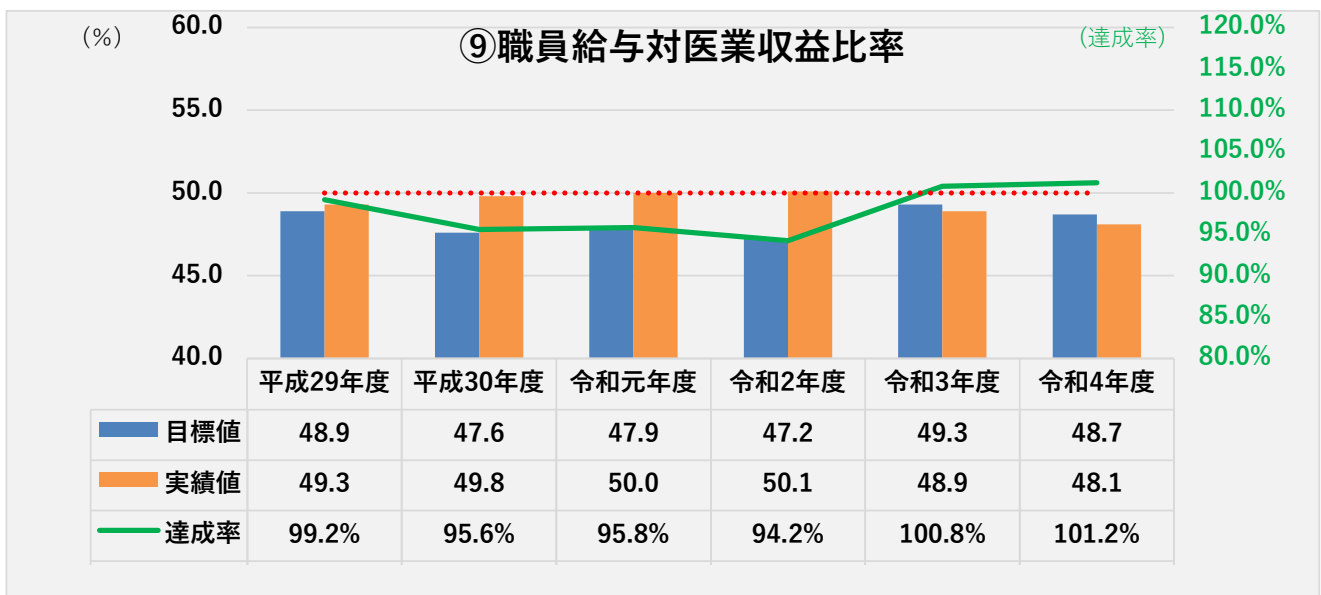
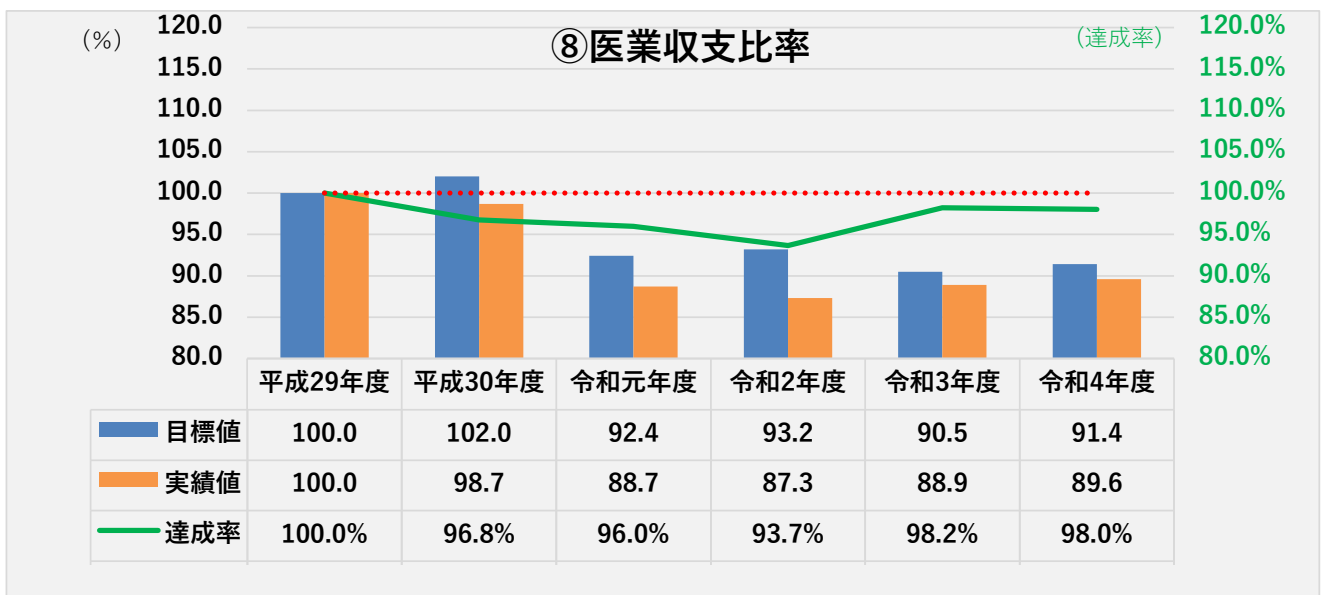
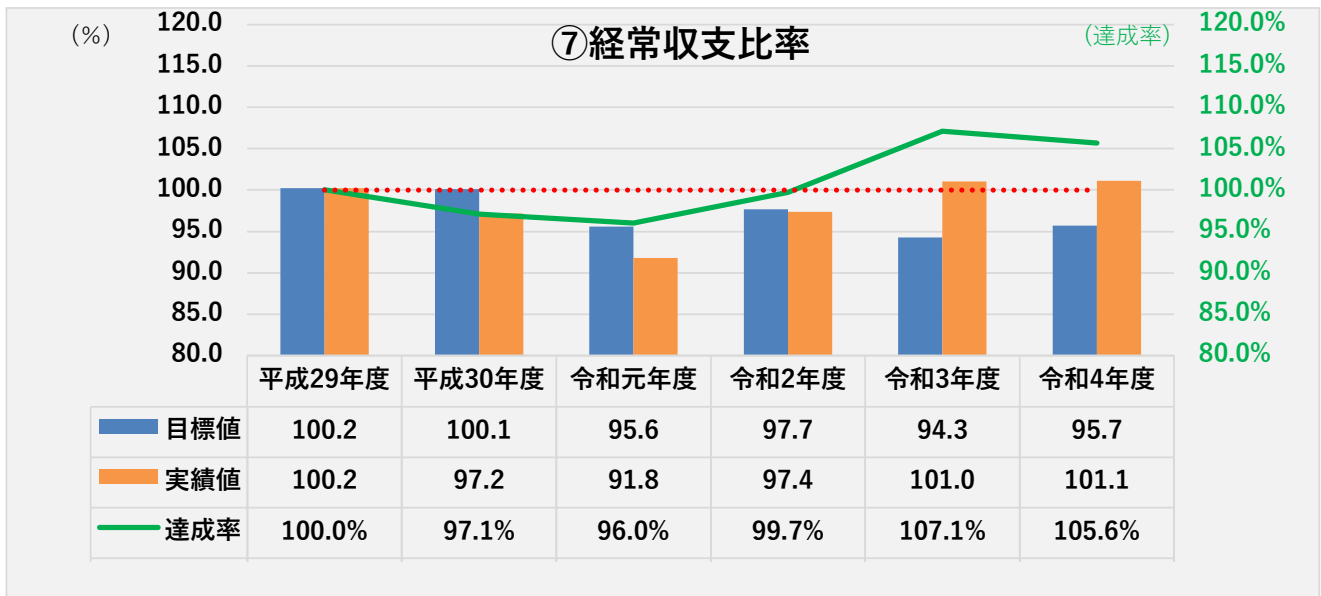
小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



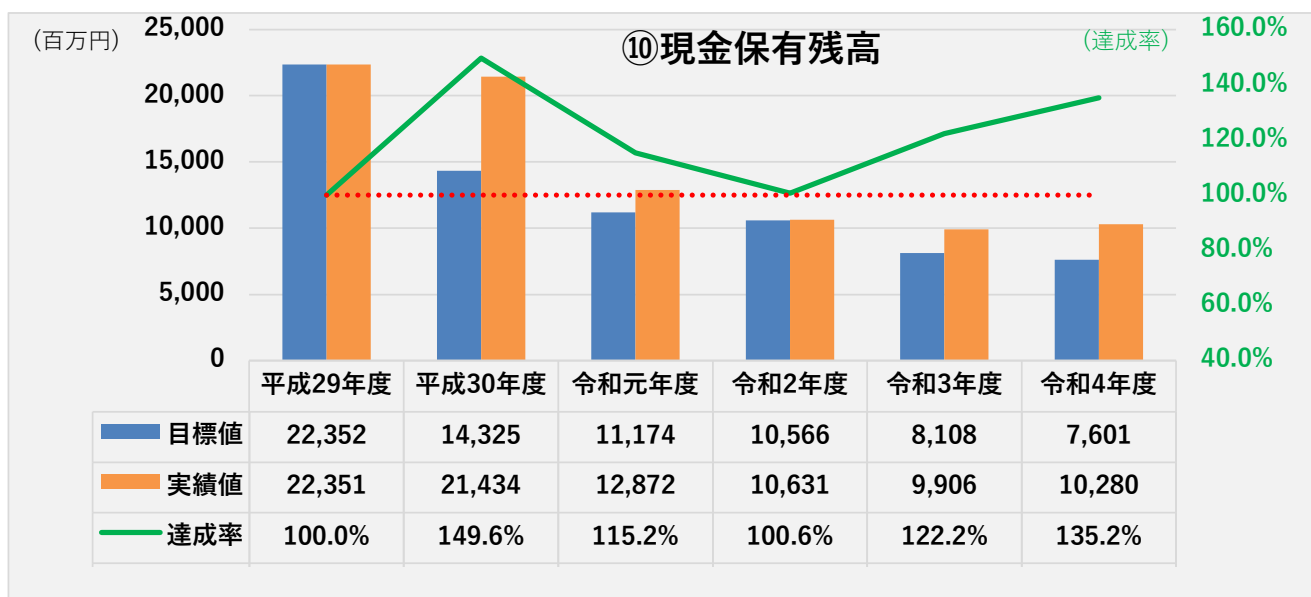
小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



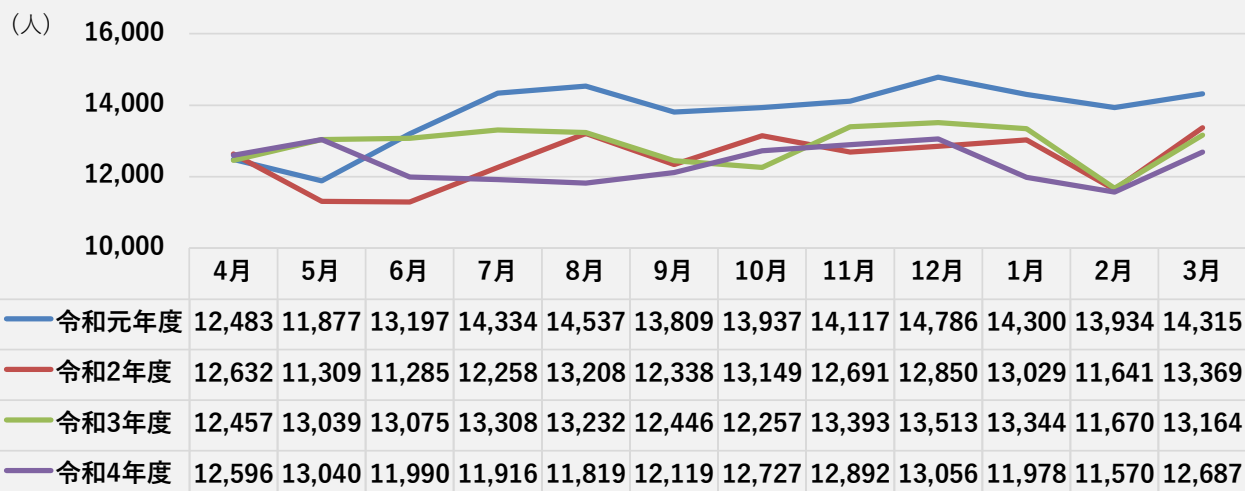
小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



【参考】月別入院患者数の推移



【参考】月別外来患者数の推移

